



南振第1, 122号
平成20年10月30日

国土交通省道路局長 様

南相木村長 中 島 育 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成20年9月19日付国道企第37号により依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点・要望や提案など

長野県 南相木村

地方の発展は道路整備なくして考えられません。

よく無駄な工事と言われますが、住民の要望によったもの、そして各役所で地域の発展を考えての公共事業であります。私たちの村の東と西側にあ
る隣村を結ぶ二本のトンネルも、当時の建設省、農林省のお世話になり完成させていただきました。

前長野県知事田中康夫氏はじめ都会の人々には、二本のトンネルが無駄な公共事業と言われるかもしれませんが、利用する地域住民にとってはど
の位ありがたいかわかりません。都会生まれで都会育ちの政治家は、地元で言うことと都会で言うことが違いすぎており、理解に苦みます。選挙の時
だけの地元では困る。国会議員、そして国土交通省に道路特定財源継続をお願いに行く時、与党議員のいない地方は野党議員にお願いするしかない
のです。逆効果かもしれません。道路特定財源の一般財源化で今で行ったことのない財務省に最近では陳情に行くようになりました。道路の大切さが
分からない官庁への陳情はいかなものかと思えます。費用対効果が絶対的な力を持っている現在の制度ではわたくしたちみたいな小さな村、地方
の発展は考えられません。

これからは、コンクリート構造物などのメンテナンスも必要になり、新設改良に向けていた予算も減少するかと思われれるが、まだまだ地方の道路整備
は遅れております。僅かな人口で国有地、及び自然環境をまもっている山村にも目を向けて少しでも道路整備が進むようお願いいたします。

公共事業の削減による土木技術者の減少は将来に禍根を残すことになる。日本の土木技術は世界最高水準にある。それを活用できないのは国家
損失であり、国力の低下に繋がる公共事業削減は避けてもらいたい。

地域の現状

少子高齢化に悩む村です。

基幹産業は農業ですが若者の農業離れによる農業従事者の高齢化、そして野菜の価格低下は深刻で、遊休農地は年毎に増加しておりますが現状です。農業の他に観光にも力を入れはじめましたが、道路の整備なくして地域全体での観光発展には無理があります。冬期間には隣村に行くのに1時間もかかってしまいます。主要地方道が冬期間通行止めになってしまうのです。国の施策で合併を遂行しようとしても出来ませんし観光面でも大きなマイナスです。地域全体で持っている観光資源を広域全体で取り組むべきだと思いますが、それにはやはり道路整備の問題が第一です。

課題

必要な道路は整備すると言っておりますが、交通量の少ない地方の道路には目を向けてくれないのではと心配になります。道路特定財源は継続して地方の道路行政が安心して施行できるようにしてもらいたい。橋のメンテナンス、冬期間孤立町村にならないため、また主要国道の災害緊急道路として、トンネルの整備をお願いしたい。

地域の目指す将来像

この地域全体で現在一番の政治課題は中部横断自動車道(仮)八千穂インターから山梨県長坂インター間の基本計画から整備計画への格上げの問題です。道路はネットワーク化してはじめてその機能を果たすことが出来ると思います。途中で計画を断念することは地方のこれからの生命線を絶つことになりかねません。中部横断自動車道の完成で日本海と太平洋が繋がることによりこの周辺地域の発展がなされ、都市部との交流が安易となり活力ある地域づくりに役立ちます。

少子化、過疎化など地方には大きな問題が山積みです。日本国は輸出産業に頼り農業には目を向けてくれません。ましてや人口が集中している都市の生活環境整備には大金を投入し、人口が閑散している地方には全く関心がありません。近い将来大地震等が発生したらどのように対処するのか。小さいながらも安心して農業、林業で生活出来る村にしたいと思っています。そのためには、国の山村に対するあたたかい支援、施策が必要。

① 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

長野県 南相木村

私たちの村は国道もなければ鉄道もない、ましてや冬の間は主要地方道も通行止めになる山間部の村です。

自動車だけが唯一の交通手段です。ガソリンの税率が下がることは大賛成ですが、その為に地方の遅れている道路整備がなおまた遅れてしまうのは地域の発展の妨げになりかねません。道路特定財源が一般財源化になるのには大反対です。

千曲川に沿って国道が縦断しておりますが、大きな事故、災害発生した場合都市への交通手段はなくなってしまいます。以前千曲川の増水により国道が通行止めになった時、冬期間通行止めになる馬越峠、主要地方道川上佐久線の一番標高の高い道に車が殺到し大混乱を引き起こしたことがあります。長野県にもお願いしておりますが、馬越峠のトンネル化は災害時の救済道路の意味も含んでおります。地域住民の安全、安心、発展のための悲願です。中部横断道の全線開通、馬越峠のトンネル化は私たちの村の発展はもとより地方のこれからの未来の架け橋になると確信しております。